

私は千葉県柏市で生活安全産業の一翼を担うべく、警備会社を展開する会社経営者です。ぜひ、新卒高校生の方々に当社の門をたたいて頂きたく、先生方、学校関係者の皆様に日頃から、経営者として思うこと、感じていることを綴ります。文化・芸能・教育・社会・経済・企業の問題を一緒に考えていきたいです。当紙の題名は私の人生訓であり、モットーでもあります。

「勤労者のモチベーションが低すぎる日本」

「令和の世となれば、人心が一新されて経済の流れが変わるかもしれない。」などと淡い期待をもっていたのですがそんなに上手い話は無かったようです。せめて少しばかり勘違いをさせてくれるようなご祝儀相場と言われる「株高」現象でも起きてくれればその可能性は十分あったと思います。

新元号を戴いた5月以降、日経平均株価は20000円割れ寸前を低迷するのがやっどです。米国株式市場の指標であるダウ平均が7月半ばに史上最高値を更新したのとは雲泥の差です。

このところの日本株の低迷は「米国金利の低下→ドル売り/円買い→円高→輸出企業の業績悪化」を先読みした投資家の売り姿勢によるものです。目先の動きは相場観で説明出来ても、日経平均株価が30年前から未だに約半値、NYダウは約10倍になっている現実を前にすると、もっと深刻で根深い問題があると考えてしまいます。

日本経済が「悪くないのに、良くもない」のではなく「悪くても、良くしようとしない」思考が蔓延するのがこの国の危うい点です。30年間も高値を抜けない株式市場の停滞は、詰まるところ「勤労者のモチベーションが低すぎる日本」の姿そのものように見えてくるのです。米国や新興国のような新陳代謝とチャレンジ精神の回転エネルギーがこの国には感じられません。

日本の勤労者が頑張っていることは穴を掘って、埋めるような「作業」ばかりで気持ちが躍動するようなチャレンジに乏しい。経営者も、従業員も、新しいものを恐れてはいけません。



当社では毎年、たくさんの高卒生を迎え入れております。一人でも多くの若い力を大切に育て上げたい。社会の発展に貢献できる人材に成長させることを私がお約束します。会社を通して彼らの人生形成の役に立ちたいと存じます。

ぜひ大切な生徒様の進路検討に私の会社を加えて下さい。本日は、御精読ありがとうございました。

松本 隆一郎